

日中  
あかやま  
読字 原田 観  
No. 797  
2016/ 5/5  
日中友好新聞  
発行所  
日本中国友好協会  
〒113-0033 東京都文京区湯島1-1-1  
日中友好協会  
岡山支部  
〒710-8256  
岡山県北3-8-30 514  
TEL:086(272)-3010  
郵便番号1100  
01250-0-3835  
日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8011  
倉敷市連島中央1-8-4  
(宮地方)  
TEL:FAK086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rzhong.biz/  
メールアドレス  
rzhong86@hotmail.co.jp



# 中国帰国者問題写真と資料展

## ― 残留孤児を生んだ歴史を繰り返してはならない ―

日中友好協会岡山支部は、4月19日から21日まで岡山市役所一階ロビーで、九回目の標記の展示会を開催しました。

展示内容は次の5点です。

一、岡山県の開拓団(七虎力・龍爪・大主上房)の歴史や生活の様子。今回は、七虎力開拓団の高杉さんと鴨井さんの歩みをくわしく紹介しまし

た。

二、深刻な中国帰国者の老後と介護問題」は、はじめての展示で、高見さんのおくさんと残留日本人孤児Mさんの現状と厚生労働省への要望書を紹介しました。

三、中国帰国者の日本語学習の現状」と、四、中国帰国者との交流会」は、例年通りの内容です。

五、日中文化交流のとりくみ」も、今回はじめてです。

取材を受ける高杉さん



内容は、日中友好の心を育てる、太極拳、きりえ、中国語講座、中国料理教室の様子及び第3回中国百科検定を展示しました。

(二)の展示については、次回はもっと詳しく紹介したいと思っています。

さて、この展示会は、2008年4

月から施行された中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律」の一部を改正した「新支援法」にもとづいて、岡山市福祉課と日中岡山支部が共催して実施しています。

目的は、戦争が生んだ中

## 歴史を復習し、平和を守る

帰国者、この新しい名詞について、多くの日本人は知らないと思います。

認識が足りないので、帰国者は中国からやってきた難民だと思っています。だから帰国者の問題に対して正しい態度をとることができない。

公民になるために、帰国者はたたかいました。2002年12月首都圏の帰国者は原告団を結成しました。原告団は全国に発展しました。多年の努力をして支援策を勝ち取

ることができた。2008年2月、日本政府に認められ、ついに4月から新支援法が施行されました。

2014年10月、残留孤児配偶者支援法が実施されました。

2つの支援策ができて、残留孤児、配偶者及び残留婦人の老後の生活はほぼ保障されました。

中国帰国者問題写真と資料展は今年で九回目となります。展示を通して、多くの方が、中国帰国者の歴史を理解し、帰国者問題に対しても、正しい態度をとることに役立ちます。芳田日本語学習講

国残留日本人孤児や残留婦人及びその家族の歴史と現状を知ってもらうことです。

3日間で、校外学習の一環として参観した日本語教室の受講生・講師、市の職員など約150人が訪れました。取材は3件(山陽新聞・毎日新聞・岡山民報)ありました。

毎日の記者は、事前に高杉さん宅で聞き取りをするなど、熱心に取材しました。

(参観者の感想文を紹介いたします。)

座受講生の大部分は、帰国者と二世及び残留孤児の配偶者です。一世代上の人の苦難の歴史について何回も聞いたことがあります。彼らの体験をよく理解して、苦難の経歴に同情します。よって日中友好協会岡山支部の九回目の展示に大変感謝しています。歴史を復習し平和を守る。戦争を忘れてはいけない、歴史の悲劇を繰り返してはいけない。

益田聖子

中国帰国者の歴史を復習し平和を守る。戦争を忘れてはいけない、歴史の悲劇を繰り返してはいけない。

## 中国帰国者のいみがわかる

4月19日、私は芳田日本語学習講座のみなさんと一緒に岡山市役所一階ロビーで、中国帰国者写真と資料展を参観しました。だいたい中国帰

国者」といういみがわかりました。

中国帰国者のみなさんが日本語の勉強をよくがんばっている文字や写真を見ました。

私は非常に感動しました。私はみなさんより日本語があまりよくできません。また、今回わたしは、ぜひ日本語の勉強をがんばっていききたいと思いました。

益田美奈恵



芳田日本語学習講座の受講生、右はしが益田聖子さん、そのとなりが益田美奈恵さん

# 野党候補一本化する

## ―市民の願いが実った画期的な合意―

日中友好協会岡山支部 小林軍治

4月21日、岡山市内のホテルで参院岡山選挙区の野党候補を一本化するために、政策

協定書(資料1)の調印式が行われ、民進党公認の黒石健太郎氏を統一候補にするこ

とで合意しました。式には、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めるお

岡山県連合会の福島捷美代表らが出席しました。

市民が待ちに待った国民的大義に立った歴史的、画期的な内容で合意が実現しました。

私は、歴史的な調印式の場に同席し、胸が熱くなりました。

候補者の一本化が実現し、やつと戦いのスタートに立つことができました。これからが本番です。

日中岡山支部の会員、準会員は、日中不再戦は、憲法9

条を生かす道」との立場で、日中友好運動に取り組んできました。それだけに、安倍自公政権の憲法破壊の暴走は、許すことができません。自らの人生をかけて、立憲主義を回復し、民主主義を守るために、野党統一候補の勝利を目指して奮闘しましょう。

# サム☆トゥッソリのコンサートを聞きました

4月9日、桜花爛漫の春の岡山で、韓国のごえから生まれたサム☆トゥッソリのコンサートを聞きました。男性2人女性3人の構成で、歌唱力に優れた5人でした。

リーダーのソンさんが日本語で歌の説明をしてくれましたが、原稿を見ての日本語はちよつとあやしいところもありました。でも、日本語で歌う

歌はきれいな発音なので驚きました。そして楽器を使いこなしながら歌詞の心を歌い上げて、とても説得力がありました。歌は世界をつなぐ」を実感しました。

5人の独唱は一人ひとりの個性ある選曲で、このグループの可能性を感じました。ご

自分の作った歌もありましたし、みんな楽器を効果的に使っていました。イ・ヘジンさんはキーボード。ミン・ジノさんはギターといったふうに。音響効果もあるのでしようが、迫力がありうたごえの心を歌唱力豊かに歌い上げて、聞いていて元気づけられました。

バックに韓国の運動の高まりを感じるスライドが流れて、韓国の今を感じました。岡山のごえの人たちと

# ある中国残留婦人の生涯

## ―鴨井千代子さんのこと― 2

### 生い立ち (1)

彼女は、一九三一年(昭和6年)児島郡福田町浦田に四人兄弟の次女として生まれた。種松山の山塊 古城池トネルの東側に位置する静かな山間地である。

自宅近くの桑畑で桑の実を食べたり、堀に落ち、父親がびつくりして助けに来たとか。貝拾いに行ったりとか。こんな記憶が断片的に残っていると。父(40才)母(38才)兄(13才)姉(9才)妹(4才)の一家は、下関より釜山に船で渡り、朝鮮半島を北上し、前述の入植地(満州樺川県七虎力開拓団)に入った。



母と兄弟4人、入植前の内地(日本)での写真、父は先に満州に生き不在。1939年か？



の合唱もあり、大きな交流ができたのではないかと思います。私もかつて聞いたり歌ったりした歌もあれば、初めて聞く歌もあり、歌は時代とともに動いていくし成長するのだなと思いました。

石川

## 【資料1】 第24回参議院議員通常選挙岡山選挙区 政策協定書

私たち、安保法制廃止と立憲主義の回復を求めるおかやまいっぼんの会(略称:おかやまいっぼん)と野党3党は、昨年来、安倍政権が行う政治、特に立憲主義を否定し平和主義を破壊する政治に反対して運動を進めてきました。私たちは、この間広がったおかやまいっぼんをはじめ、一人ひとりの「いのち」(個人の尊厳)が守られる政治、憲法の三大原則を守ることを求める声にこたえて次の2点の政策について合意します。その実現のために岡山県民と野党の統一候補として候補者の一本化を行うことに合意しました。この統一候補は共通政策を主要政策として公約に掲げ、当選後は任期満了までその実現に向け、職責において全力をつくすことを確認しました。私たちは、情勢に合わせ、一致する共通政策の範囲を広げていくためにひきつづき努力し、この合意を第一歩として統一候補の勝利のために全力をあげるものです。

### 【共通政策】

- 1、 2014年7月1日の集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回する
- 2、 2015年9月19日に「成立」した安全保障関連法制を廃止する

# 反戦・平和・名作のつどい 第9回

4月17日(日)の 老人と海」と 赤ひげ」の感想を紹介

偶数月の第3日曜日に日中岡山支部も後援している無料の映画界会がつづいていきます。

この日、午前と午後あわせて23人が鑑賞しました。

午前10時からアメリカの(ミンゲウエイ)の作品の映画化で、老人と少年のあたたかい

交流が印象的でした(男62) 若い若いころ物理の先生が敗戦の日を境に、女学生が洋

画の一本も見ないと映画鑑賞サークルを作ってくださいました。それからずっと映画大好き人間です。海に生きる老人の姿、力強いペンサーの演技とカメラのよさにひきつけられました。赤ひげ」の三船はやはりすてき！むかし見たと思うのに新鮮でした(女86)

次回は一週間ずれて、第70回、6月12日(日)ですので、お忘れなくお出かけください。 竹内

次回の新聞送付作業は

5月23日(月)午後1時半から 民主会館2階で行います。

前回お手伝いくださった方です。

小林和 竹内 竹内 坪井